

黒沢3-2自治会 ふるさと「上栃谷・下栃谷」発行

黒沢3-2自治会では令和改元の記念誌「ふるさと『上栃谷・下栃谷』」を令和元年11月に発行し、自治会員に配布しました。右の写真の冊子で、明治時代に青梅市黒沢が「神奈川県多摩郡黒澤村」だった頃から現在に至るまでの「上栃谷・下栃谷（黒沢3-2自治会地区）」のことが94ページにわたって記載されています。

発行当時の自治会長河野敏弘さん（写真左）と編集を担当された原島正さん（写真右）のお話しによると、地域での言い伝えがなかなか難しくなった時代背景や、旧来の「仏芝原（ほとけしばら）」というような黒沢川源流近くの地域呼称が薄れていく寂しさを感じる状況から、自治会費を充当する形での記念誌発行を発案し、自治会総会での賛同を得ての発行となりました。

制作には半年以上をかけ、地域の方々からの寄稿や地域の近代史から原島さんがすべてパソコン入力して印刷原稿を作成し、印刷所へ印刷のみを依頼した力作です。著作権の許諾も得た上で写真や新聞記事も多数掲載し、地域の神社や祭り・青梅坂トンネル開通・ひまわりプール作りと教科書への掲載・大正時代に黒沢に鉄道が走っていた話などなど…、読み応えのある内容になっています。小曾木市民センター図書館、第七小、第六中には寄贈されていますので、「ふるさと黒沢」を記憶に残し語り継いでいけるよう、ぜひ、ご一読ください。



富岡自治会の誕生

令和2年度より富岡1丁目、2丁目自治会は、富岡自治会にまとまりました。富岡地区には昨年度は、富岡1丁目自治会、富岡2丁目自治会、そして「その他自治会」として富岡3丁目第1自治会があり、その中の1丁目、2丁目自治会がまとまったものです。

今回、富岡自治会の自治会長加藤博行さん、副自治会長橋本哲雄さんにお話しを伺うことができました。今回の動きは、自治会規模縮小に合わせて役員人数を減少し、第6支会の自治会としての活動の継続を図るための新たな取り組みと捉えられます。従来から富岡地区の3自治会は協議会の場を持ち、盆踊り・祭礼・青少年対策委員会などの運営を行っており、今後も活動は継続されます。また、今後も3自治会それぞれの自治会活動が継続される部分もある緩やかなつながりとなっています。神社やお寺と自治会のつながりも緩やかなようですので、臨時総会で反対意見もなく成立となりました。前年度のそれぞれの自治会長の信頼関係が深く、新たな富岡自治会の正副自治会長として継続されたことが奏功しているとも強く感じました。

富岡2丁目地区は、すでに資源回収でも地域に1か所の集積場所まで各戸自身で持参する形で運用し、回収量の減量もあまりない程度の状況とのことです。このような地域に合った様々な工夫ができる雰囲気作りの大切さもお話しから感じました。

高齢者クラブ 錦秋会(小曾木3, 4丁目)

小曾木3丁目、4丁目住民で構成される高齢者クラブ「錦秋会（きんしゅうかい）」は128名の会員が活動を行い、令和元年度には東京都老人クラブ連合会より「優良クラブ表彰」をいただきました。

社会奉仕活動としては、年に計3回ずつ、3丁目会員は荒田福昌寺境内と小曾木市民センターグラウンドの清掃、4丁目会員は4丁目児童遊園の清掃を実施。おそき保育園、第七小、第六中の行事への参加も行っています。

青梅市高齢者クラブ連合会行事には、グラウンド

ゴルフ大会、輪投げ大会、芸能大会などに参加しています。クラブ活動はゲートボール部が月・水・金に練習、グラウンドゴルフ部は3丁目は水・金に、4丁目は月・水・金に練習、カラオケ部は月2回3丁目自治会館で練習しています。

ゲートボール部は令和2年度市民体育ゲートボール大会で見事優勝を飾りました（写真）。西多摩地区大会、市町村クラブ連合会大会にも出場する活躍をしています。

（会長 神山武治）

